

二〇二〇年秋、

旧秋田県立美術館は、

秋田市文化創造交流館(仮称)

としてオープンします！

リニエーアビ!



出会う、
つくる、
はじめる

秋田市



新たな文化創造を目指して

秋田市文化創造交流館^(仮称)は、未来に向けて新しい価値を生み出す「文化創造プロジェクト」の拠点として、出会い、つくり、はじめる場となります。また、中心市街地の魅力を高める「芸術文化ゾーン」の核として、新たなまちの未来をつくります。ここでは、改修工事の着工を前に策定した秋田市文化創造交流館^(仮称)の運営管理計画から、基本的な運営管理のあり方を紹介します。

基本理念

秋田市文化創造交流館^(仮称)は、すべての人がクリエイティビティ（創造力）を発揮するための文化創造拠点です。創造力とは、誰もが潜在的に備えている力。新しいものに触れたい、つくりたいと願う、人が生きるうえでの根源的な力でもあります。

秋田市文化創造交流館^(仮称)では、市民一人ひとりの創造力を育むため、すべての人に場を開き、学びと出会いの機会、活動のための環境、情報発信等のサポートを提供します。また、専門家等と協働して実験的なテーマに取り組む事業を通し、新たな思考や創造のきっかけを生み出します。さらに、施設で生まれた活動やアイデアを積極的にまちに開き、秋田の魅力づくりに貢献します。

大切にしたいこと

1. 自由で柔軟な環境をつくること
2. 市民一人ひとりの創造力を尊重し、応援すること
3. 生み出された多様な価値をひろげること

基本方針

1 すべての人に開かれた環境をつくる

魅力的な建築空間を活かして、すべての人に開かれた寛容な環境をつくれます。多様な人が共に過ごし、創造力を養い、発揮するための「余白」を生み出します。

2 創造力を養う出会いの機会をつくる

創造力を養うための機会を創出します。背景や価値観の異なる人が集まり、ともに創り、交流し、学び合うことで、新たな知識や視点に出会い、主体的な意欲を掻き立てます。

3 創造力を発揮する活動を支援する

コーディネーターが利用者のアイデアの実現や発表、情報発信をサポートし、創造力の発揮を支援します。日常に息づく創造力を高め、まち全体を魅力的にしていけることを目指します。

4 創造力を刺激する実験的事業を行う

多様な分野の専門家を招いたイベントや、クリエイターとの協働プロジェクトなど実験的なテーマに取り組み、新たな視点をもたらす自主事業により市民の創造力を刺激します。

5 創造力を秋田のまちにひろげる

近隣の歴史・文化施設、商業施設や施設外のエリア、他分野の事業とも連携します。アイデアや企画を地域に開くことで新たな価値を生み出し、未来の文化を創造する力を秋田のまち全体にひろげます。

6 活動の過程と成果を発信し、アーカイブする

活動をウェブサイトや刊行物などを通じて記録・発信し、アーカイブしてより多くの人を巻き込みます。全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有し、よりよい施設運営に活かしていきます。

この3つの考えのもと、6つの基本方針で、“文化創造のまち”を目指します！

2 機会の提供

新しい知識や視点に出会い、学び合うための機会があります。運営チームによる自主企画、市民が中心となる市民企画、持ち込み企画などを展開します。

- ・セミナー、ワークショップ、まちなかがっこうや夜楽、交流会など活動の場となります
- ・多様な分野の専門家、クリエイター、アーティストなどによるトークイベントやシンポジウムも予定

1 空間の提供

すべての人に開かれた、心身が安らぐ環境やサービスがあります。

- ・憩いの空間、多目的スペースが使えます
- ・物販、カフェスペース、フリーwifiを整備
- ・授乳室、おむつ交換設備完備
- ・屋外広場ではクラフト市やマルシェもできます

3 創造支援事業

市民のアイデア実現や創作物の発表などを運営チームがサポート。創造力の発揮を支援する事業を行います。

- ・プロジェクトを公募して実現へ
- ・活動のマッチングをお手伝い
- ・さまざまな文化創造活動を支援します

4 創造実験事業

多様な分野の専門家やクリエイター、アーティストを招いて実験的なテーマに取り組む自主企画事業を行います。

- ・公開制作や長期滞在制作
- ・演劇や舞踏の舞台公演、展覧会もあるかも？

5 地域連携

芸術文化ゾーンをはじめとする近隣の歴史・文化施設、商業施設と連携。また、施設で生まれたアイデアや企画をまちなかで展開します。

- ・芸術文化ゾーン内の歴史・文化施設などとの連携企画
- ・いろいろな活動がまちなかにあふれ出すように…

6 情報発信・アーカイブ

秋田市文化創造交流館(仮称)が行う活動をウェブサイトや刊行物を通じて発信し、活用可能な形でアーカイブします。

- ・事業についてまとめたアーカイブの運用や定期刊行物を発行します
- ・ウェブやSNSを通じて広く発信します

2019年度は
事業計画や開館時間、
利用料金などのルールづくりに取り組みます。



運営管理は“フラットで柔軟なネットワーク”を目指します

指定管理者による運営管理を想定。フラットな組織をつくり、スタッフ一人ひとりの職能・専門性を生かして総務・経理といった管理部門と事業部門が一体となった柔軟な組織運営とします。市民の活動をサポートし、文化創造のまちに向けて動き出します。



2020年秋 /

秋田市文化創造交流館(仮称) OPEN!

【活用までの経緯】昭和42年、秋田県立美術館としてオープン。秋田市の資産家・平野政吉氏と交友のあった藤田嗣治が平野家の土蔵で描いた壁画《秋田の行事》をはじめ数々の藤田作品を所蔵・展示してきました。

平成25年、エリアなかいちの新美術館に作品とともに移転。閉館後の建物の活用についての検討が始まりました。

平成27年、秋田市が中心市街地の「芸術文化ゾーン」の核として活用する方針を固め、市民ワークショップ等を経て平成30年3月に秋田市文化創造交流館(仮称)として活用を決定、2019年7月から改修工事を行います。

